

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立川之石高等学校

学校番号 (36)

評 価 実 施 日		令和 8 年 3 月 9 日 (月)	
委 員	氏 名	所 属 等	備 考
	村井 泰之	(株) 八幡浜自動車教習所・学校評議員	
	大森まゆみ	保内児童センター長	
	高岡 成夏	P T A 副会長	
	新口 瑞穂	P T A 副会長	
	伊東 伸也	保内中学校 教頭	
	宇田 浩二	伊方中学校 教頭	

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
1 今年度の最終評価について (1) 学校経営 ・農家で体験学習をさせるなどして地域に対する愛着を身に付けさせ、身近な地域社会との連携を深めたり、生徒が自ら企画して参加するような活動を通して生徒の主体性を育成していただきたい。 (4) 進路指導 ・求人票の条件が売り手市場のためどんどん良くなっていると思うが、苦労しなくても若いからすぐ就職が決まるので努力しないではなく、今こそ努力するれば今まで入口すら開いていなかった難関企業も入れる可能性があると感じ、努力するような指導を期待したい。 (5) 人権・同和教育・教育相談 ・SNSの発達により個人の情報発信や人権意識の高揚の必要性、責任は大きくなっている。社会に出る生徒が多いので、一人一人が責任のある行動、発信ができる資質を身に付けることが重要だと感じる。	・県内の先進農家への見学は実施しているが、今後は、地元柑橘農家の見学や栽培体験を実施して、地域との連携を深めていきたい。また、地域イベントでの農産物販売も実施していきたい。 ・就職指導については、担任、年次団、進路課が連携しながら進めていく。オリエンテーションや面談、外部講師の講話などについても最新の情報を伝えていく。また、就職するだけでなく、就職後に必要な力を身に付けさせるような取り組みをしていきたい。 ・スマホ安全教室を開催しSNSの適切な利用について学んでいる。今後は、インターネット上の人権侵害について、人権だよりやホームルーム活動を通して理解を深め、人権意識の高揚を図れるよう各課が連携して取り組みたい。

2 評価の説明・公表について ・担当部署で先生方が努力されていることがよく分かったので、その部署が変わっても、業務が揺るがないように職員全体で情報・技術を共有していただきたい。 3 学校運営全般への要望・提言 ・生徒数が減る中で、部活動の縮小、教育の多様性の減少、人間関係の多様性の減少など不利益の面が多くなると思うが、生徒に不利益が生じないように工夫して運営をしていただきたい。 ・校内の公衆電話をテレホンカードが使えるようにしていただきたい。	・運営委員会、職員会議、校務系掲示板等において情報共有を徹底して行い、担当者の変更があつたとしても滞りなく業務が遂行できるよう学校経営を行っていきたい。 ・グラデュエーション・ポリシーに基づき、生徒の成長を保護者も教職員も地域の方々も感じられる運営を行っていききたい。 ・携帯電話の普及により、カード式電話を含む公衆電話の使用が激減し、その結果県立学校にあったカード式電話は、収益が見込めないためN T Tにより10年ほど前に撤去されている。本校では10円玉を使用するピンク電話をP T Aの費用負担により置いているが、その使用回数も月数回程度である。そのため、現状ではテレホンカードの使える公衆電話の設置はできない状況である。
---	--